

## タウンミーティング 議事要約

テーマ： 行徳地域の街づくり

日時： 令和元年11月24日（日）10:00～11:30

場所： 南行徳市民センター2階 多目的ホール

参加者： 約40名

この会のタウンミーティングでは、参加者からの質問に Web 投稿を利用しました。  
議事要約に掲載している質問文は、投稿文をそのまま掲載しています。

<1>新井小学校近くの旧道の「押しボタン信号」を普通の信号にかえてほしい。事故も  
ありました。車がはげしく通ります。ロウソンの所

市長：

現状を確認して対応を県警とも相談させていただきたいと思います。

<2>行徳の街づくりというなら一般市民が毎日使う道、高齢者、車いす等本当にあぶな  
くてこまっております。駅は遠いし、バス停はあまりないし、不便です。ご自分の足で歩  
いてみて、実感してください。

市長：

わかりました。コミュニティバスをどうやっていくかというのは、大きな宿題だと思っ  
ています。安全で綺麗で環境にやさしい仕組みを作りたい。歩いて勉強したいと思いま  
す。

<3>先日の台風19号の際に、ひとり暮らしの高齢女性から避難場所を聞かれ、まず、自  
治会に問い合わせましたところ、「富美浜小に決まっている」という返事でした。念のため、  
市の防災課に問合せしましたら「行徳公民館」、食事は各自持参でとのこと。とりあえず、  
ご本人に伝えました。南行徳地域全域で一ヶ所というのは(行徳地域全域)あまりにも少ない  
こと、食事を持参することなど、避難場所としての役割が果たせないのでは？次回に備え  
て、命を守る備えをぜひ具体的に市民にわかるようにお知らせ下さい。

<4>ゴミ、会館使用料、よくやってくれている市職員について述べたい

※<3><4>の質問・意見に対する補足説明が以下のとおり挙手にてありました。

私も当時ニュースで、老人や子供は避難するよう報道されたので、大雨に濡れながらも富  
美浜小学校と福栄小学校に行ったが閉まっていた。翌日確認したところ南行徳公民館と行  
徳公民館が避難所だと聞いた。地震と台風で避難所が違うというのは大きな問題だと思う。  
それぞれの人が自宅から近い場所に一時避難ができるような細かな対応をしてほしい。

コミュニティバスを医療センターから現代産業科学館まで利用しているが使い勝手が非常

に悪い。現代産業科学館からの乗り継ぎがない。バスでは市役所や博物館など市の施設にも行けない。霊園への乗り継ぎが悪く1日4〜5本くらいしかない。霊園に行くために、お盆や彼岸には臨時便を出してほしい。市の南と北が分断されている。

市の職員を勇気づけたい。ゴミの収集や会館使用料の値下げは好評。また私は救急車で運ばれた経験があるが、消防隊員に的確な判断をしてもらった。そういったことを評価してほしい。最後に行徳の会館は管理者が変わり、使い勝手が非常に良くなった。

市長：

叱咤と激励ありがとうございます。まず避難場所のご指摘のとおり大変重要なことです。

15・19・21号と連続で台風被害を受けまして、実は来年度の事業の柱に防災・減災・皆様の安全・安心というテーマを掲げて予算を組む準備をしています。台風の際にどこに避難していただくかをわかりやすく周知徹底してまいります。これは大変反省をしております。全部の小学校や全部の場所を開けるわけではないのでそのお知らせや、防災無線が聞こえにくいとか、市のホームページが動かないといった色々な問題を認識しています。普段から皆様にこのような場合にはどこに避難したらよいかを整理してお伝えします。なおかつ避難した際に体育館の床に座って一夜を過ごしていただくのは申し訳ないと思っています。家族ごとにプライバシーが確保された形で過ごして頂くことや、ペットのことも考える避難所の運営を考えたいと思います。しっかり避難場所の整理をして皆様にお伝えしたいと思います。

次にバスについてです。先の議会だったと記憶しておりますが、重要な答弁を申し上げたつもりです。今のバスの仕組みは採算が問われる事業形態であります。利用者が少ないと京成バスが新たな経路を整備しないとか、廃止といった場合もあります。これをそろそろ見直すといった趣旨の答弁をしました。市民の皆様が必要とされている経路に市民の皆様や議会のご同意を頂いた上で、市が主体的に皆様の足を確保するという事業に設え直す必要があります。高齢者の方が免許を返納した後、車がなくてもどこにでも行けるように例えばタクシーを活かすとか、近い将来無人の自動運転バスもでてきますので、気軽に皆様が出しやすいくらいの仕組みをつくらないとだめだと思っています。どこかで政策転換をしないとイケないと思っています。議会で常に議論しているテーマなので早めに結論を出したいと思っています。

職員へのお褒めの言葉を励みに、より一層市民の皆様喜んでいただけるように頑張りたいと思います。

<5>行徳図書館があまりにも悪い

市長：

図書館の役割は、欧米の考え方ではすでに本を借りるだけの場所ではないのです。借りる機能も大切だが、市民の皆さんのサードプレイスという言い方をしますが、家でも職場でもない第三の場所として交流したり、勉強したり、仕事をしたりという場所として公共施

設は見直さないといけないと思います。支所の建替えの計画も議論が始まっておりますので、あわせて考えていきたいと思っております。行徳支所で機能が完結していないひとつの事業としてパスポートがあります。パスポートも早い段階に行徳で、皆様が受け取れるようになっていきますのでご報告をいたします。

< 6 > 野鳥観察舎が県事業から市事業に移行されたそうですが、予算に関してはどうなのでしょう？折半でしょうか？

市長：

野鳥観察舎の予算は市の事業になりますので、市で予算措置をしていきます。

< 7 > 燃えるゴミの週ごとの収集回数は いくつ三回に戻りますか？

市長：

選挙の公約でありましたが、今私が取り組んでいるのはスマートゴミ箱です。これは365日いつでも携帯電話をかざして生ゴミを捨てることのできるものです。今はこれを街全体における段階ではないが、主要な場所に設置していくと、燃やすゴミを週3回収集する必要はなくなるだろうと思っております。リサイクルを徹底して、なおかつ市民の皆様にお願ひして生ゴミを資源として集めて、バイオマスの発電を行っていくことを来年度から始めていきます。クリーンセンターも近い将来建替を計画していますが、燃やすゴミの量を減らして電気を作り、公共施設の電気は市民の皆様が出したゴミから全部まかなう計画を進めています。よって生ゴミは重要な資源・財産であります。なるべくスマートゴミ箱を整備して、いつでも生ゴミを入れていただけるようにしたほうが、最終的には持続可能な社会、環境に責任を持つ街として意義深い事業になると思っております。それでも週3回ゴミを収集して欲しいと要望が多い場合は検討して参ります。

< 8 > 行徳地域は、多様なエリア状況によって構成されています。旧市街地、妙典の新市街地、塩浜4丁目の大規模団地、工業団地など、多様性があります。そのエリア、エリアの実情をどのように把握しているのでしょうか。その実情に即した、政策となっているのでしょうか。

市長：

私としては日々皆様と対話をして、まさに多様な地区の特性に応じて街づくりを行っているつもりです。本市の一番の課題は、待機児童という問題があります。お陰様で待機児童の数は100人強まで減ってきており、来年度できればゼロにしたいと考えております。待機児童が多い街は子育てが難しい街となり、新しい人が入ってこない、子育て世代には住みにくい街となってしまいます。妙典と八幡の待機児童をなんとかゼロにしないといけないし、ゼロにするまで施設を整備し、余裕が出てきた時にはその施設を別の用途に転用する等政策を考えなければならない。

塩浜 4 丁目の皆様におかれましては、やはり高齢化や施設の老朽化が進んでいくなかでどう持続可能な街にして行くかは重大なテーマだと思っていますので、町会の皆様とも議論をさせていただいて、UR の方々ともどうやって街を新しくして魅力的にするか等、夢のあるプロジェクトだと思っていますので、市民の皆様と相談のうえ進めていきたい。また工業事業者の方や市民の皆様との対話を進めて街づくりを柔軟に進めたいと思っています。

< 9 > 行徳は子育て世代が比較的多い街です。妙典地域を子育てしやすいところにするのはわかりましたが南行徳側の香取地域や欠真間地域に関する子育てしやすい街づくりのビジョンはありますか？ また今回のテーマとは関係ないのですが今回の保育無償化による逆転現象という状況についてどうお考えですか？ よろしく願いいたします。

市長：

市民の皆様からすれば地域に応じて子育て施設や利便施設を整備してほしいという要望だと思います。もっと細かく地区の計画や、街づくりを行わないといけないと思いますので宿題としてお預かりします。ただ子育て施設については、どの地区にどれだけ必要か分析して進めており、すべての皆様の要望にお応えするべく頑張らなければならないが、バランスをとって進めているつもりです。保育の無償化は始まったばかりで色んな課題が出てきております。今一度早めの段階で総括して逆転現象を含めて見直しを国とも協議のうえ進めなければならない重要なテーマだと認識しております。

< 10 > 浦安市と市川市の境界付近はかなりのガードレールがあり車の出入りが出来ない。緊急時の対応等改善すべきではないでしょうか。浦安市と市川市は仲良く希望されたい

市長：

先程の塩浜 4 丁目にしても猫実川に橋がないので、なんとか橋をかけたいと私は思っています。浦安市長とは色んな事でよく協議を行っています。仲良くさせて頂いて自由に往来できるようにして、お互いにメリットが生まれるように進めたいと思います。

< 11 > 塩浜駅周辺の開発を楽しみにしていますが、現時点でのポイ捨てされたゴミや海沿いのトラックの路駐なども改善して欲しいです

市長：

きちんと街づくりの施策を進めていかないとゴミの投棄と路上駐車も多くなります。路上駐車に関しては行徳警察と相談の上、取締まり強化の要望等色々なことをしております。街が綺麗に整備されて行けばゴミを捨てる方も減ると思いますので、しっかりご指摘を踏まえて進めたいと思います。

< 12 > 各事業を進めるにあたり、関係者への事前の周知と意見聴取を。(例 学校給食のお米)地元食材への愛着。お米は比重が高すぎる。

市長：これは会津のお米のお話だと思いますが、今年度、学校給食のお米を千葉県産から会津産に換えました。結果としてそうなればいいのだが、福島復興支援のために行っている訳ではありません。市川の子どもたちに美味しく体にもいいものを食べてもらいたいという思いと、会津のみなさんとの交流の結果として行っています。

喜多方市、北塩原村、西会津町の3市町村とはずっと交流してきていて、特に震災以降ずっと市川にお越しいただいて、風評被害払拭のために毎年会津で採れた農産物を運んできて、市場とタイアップしてコルトンプラザで物産PRを行ってきています。

このようなこともあり、去年から会津の3市町村と協定を結んでいます。

会津地方の特産品は米と野菜であり、協定締結のために実際に私が訪問したときに、米の味の良さと米に対する思い入れを目の当たりにしてきたところ、教育委員会で米の現物給付事業の見直しを検討しているとの話があったので、給食の米を換えるという提案をしました。

くれぐれも申し上げますが、放射能の心配は全くありません。しっかり検査をしています。子どもたちのために、自信をもってやっている事業なのでご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

<13>野鳥観察舎 再開 ありがとうございます 以前の県営のときの「機能」はそのまま踏襲されるのでしょうか？ 以前は獣医さんらしき方がいて(持ち込まれた)傷ついた鳥の保護、治療をされていました

市長：

野鳥病院のお話だと思いますけど、この機能は維持継続されますのでご安心いただきたいと思います。

<14>県の管轄ですが、丸浜川、猫実川の市川側は、仮護岸だと聞いています。県にも問い合わせていますが、未だに答えが返って来ていません。地域、命を守る最も重要なインフラです。市として、今後の対応をお聞かせください。

市長：

この護岸に関して私が県と協議したことはまだありませんので、確認して、しっかりいざという時に皆様にご安心して頂けるようにしたいと思います。

※以下、挙手でのご質問・ご提案内容

<15>野鳥観察舎の周回路にカワウがたくさん集まっており、カワウがびっくりすると理由で人が入れなくなった。実際はバケツをたたいたりしてもカワウは逃げなかった。また周回路には高い塀や有刺鉄線があり、周回路として機能していない。今後周回路を開放して市民の皆さんが楽しめるように整備をお願いしたい

市長：

行徳近郊緑地は、市民の皆様には歩いて楽しんでもらいたいと思っています。カワウ被害の問題は認識しています。まずは緑地全体を周回いただけるように整備したい。有刺鉄線や塀は国道357号線周囲とか景観の悪い場所もあるので、まずは野鳥観察舎をオープンして、その後にカワウの対策と塀等の整備を行いたい。時間を頂きながら進めていきたい。

<16>スマートゴミ箱を設置して、操作は携帯電話で行うとのことだが、携帯電話を持っていない人はどうするのか。携帯はガラケーしか持っていない人も我々の年代にはいる。今日の会議の進め方だと差別を受けていると感じる。今後の対応を考えて欲しい。あと行徳に力を入れることは大変すばらしいと思うが、北部エリアは逆差別で北部の街づくりについて市長はあまり意見を述べていない。タウンミーティングでとりあげられたことがない。それから北部の赤レンガ倉庫はどうなったのか。あと外環道路で緑が減少しているのでそういったことも考えて欲しい。

市長：

北部に力を入れていないということはございませんのでご安心ください。行徳重視で行っているのは事実ですが、意見を聞いていないということは断じてありません。赤レンガ倉庫に関しては、今県にボールがある状況です。県の回答を待っている状況です。

【その他】開催中にとりあげることのできなかつた意見とそれに対する村越市長の回答。

○地域コミュニティゾーンについて。既存の施設・取り組みを参考にするだけでなく、子育て、発達支援等のエビデンスを広く集め、効果的な取り組みが継続的にできる、本当に役に立つ先進的なゾーンを検討してもらいたい。

市長：

そのとおりだと思います。頑張ります。いいアドバイスをありがとうございます。

○塩浜学園について。取り組みが知られていない。行き詰っている教育の一つの代替案として、先進的に取り組めないか。

市長：

県内初の義務教育学校として注目を浴びていると思うので、期待を裏切らないような教育内容に高めたいと思います。

○妙典橋の妙典川の信号を者歩分離型にして欲しい

市長：

調査します。

○広尾防災公園は川の合流点。水害時はかえって危険ではないか？

市長：

広尾防災公園の地域防災計画上の位置付けは、「避難所」ではなく「避難場所」です。

ご指摘のとおり広尾防災公園は川に近接していることや、三方を水辺に囲まれている行徳地域という立地を考慮し、整備の際に地盤高をあげているので、洪水ハザードマップに示すように公園自体が水没することはありません。

よって、市街地が水没するような状況において、一時的に避難するスペースとして利用することはできます。

しかし、ご質問のとおり、一般的なイメージとして台風の接近時に建物内に身を寄せ合うような避難所ではないことは認識しています。

この辺が分かりにくいかもしれませんので、今回、刷新する洪水ハザードマップについては、表記を工夫したいと思います。

○主要道路である南行徳駅前通りおよび新浜通りの歩道は下水上にコンクリートフタによるもので段差が多く水たまりもできやすく非常に歩きにくい。再構築して欲しい。

市長：

順番でやっています。

○本八幡のほうから参りました。野鳥観察の施設は、市内ながら交通の便のせい、なかなか足が向きませんでした。この点は簡単ではないと思いますが、HPなどで来なくなる魅力的な情報公開をお願いします。個人のブログみたいなしか見たことありませんでした。

市長：

2020年の夏、リニューアルオープンしたときに大いに宣伝したいと思います。

○無電柱化 防災上、景観上（海外の名勝地を、テレビで見るたびに感じる）「電柱のない街」

市長：

台風襲来によって無電柱化の意義というものが見直されていると思いますので、順番に取り組んでいかなければいけないと思っています。

○行徳地域特有な課題では、外国人がこれだけ増えたのに、対応を自治会任せにし過ぎです。コミュニティへの取り込みをキチンと行い、ゴミ出しルールやら、災害時の自助共助も教えるべきです。行徳地域の外国人は英語もですが、アラビア語の文書の用意が必要に思います。

市長：

ご指摘どおりだと思います。研究して進めたいと思います。

○具体的な街の問題が主だと思いますが次のことも聞いてみたい。「行徳の街づくり」は平和があった上での街づくりです。市の平和行政について聞かせてほしい。

市長：

本市は核兵器廃絶平和都市宣言を高らかに謳っており、憲法を順守し平和あつての地方自治だという認識のもとに日々頑張っております。

○待機児童の話題がでましたが待機児童を減らすだけでなく各施設の保育の質を上げていただきたいです。市川市の職員の指導がまちまちで保育の現場が戸惑っている声を聞きます。(例えば施設によって制服が可であったり他の施設では市の職員から NG が出たと聞きます。制服などは教材の購入は保護者の負担になってしまうから NG など言われたという施設があるのに対しワークを購入できる施設があったりこれは全部施設見学の質問できいた話なのですが) もう少し保育園側の自由度をあげてもよろしいのではないのでしょうか？

市長：

保育の質を高めるということは重要な指摘だと思いますので、引き続き子ども・子育て環境の向上に向けて全力を注ぎます。